

船舶事故等調査報告書

平成22年3月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第14号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年1月19日 19時05分ごろ	
発生場所	愛媛県今治市 ウズ鼻灯台から真方位352° 200m付近 (概位 北緯34° 06.9′ 東経132° 59.5′)	
事故等調査の経過	平成21年1月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 ユアン チャオ (カンボジア王国)、2,959トン 9415313 (IMO 番号)、YUAN QIAO INT'L SHIPPING., CO (カンボジア王国)	
乗組員等に関する情報	船長、国際航海3,000トン級船長	
死傷者等	なし	
損傷	船底に擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか14人が乗り組み、鋼材4,910トンを満載し、船首5.65m、船尾6.18mの喫水で来島海峡航路を東口から、流速約2～3ノット (kn) の順流の中でほぼ航路中央部を針路約295° 速力約8.4knで航行し、馬島南岸から約1,000mの同航路中央部において、中水道に向かう予定変針場所に達したが、中水道に向かうことなく、ほぼ同針路で西水道に向かって航行した。</p> <p>本船は、馬島南端のウズの鼻灯台から南方約250mとなったとき、中水道に向かうため、右舵一杯として右転を開始したが、平成21年1月19日19時05分ごろ、同島西岸から約200mの浅瀬に乗り揚げた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北北西、風速 約2m/s、視界 良好</p> <p>海象：潮流 北流約3.5kn、潮流図による航路東口から馬島を右舷に見て並行するまでの潮流は北西流約2～3kn</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、来島海峡航路を北進中、中水道に向けて右転する際、順流の影響を受けて十分な舵効を得られず、馬島西岸付近の浅瀬に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が来島海峡航路を北進中、中水道に向けて右転する際、順流の影響を受けて十分な舵効が得られなかったため、馬島西岸付近の浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	